

「多摩都市モノレール延伸部のまちや駅のイメージ」の意見募集の結果について

○実施時期：令和7年11月12日（水）から同月26日（水）

○意見総数：231件

※いただいたご意見について内容を踏まえ、一部要約しています。

Q1 多摩都市モノレール延伸部沿線が、今後どのようなまちになってほしいですか？

主な意見	東京都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ それぞれの駅を中心にその地域の特色（豊かな自然、文化など）を生かしたまち・ 若い方が住み、子育て世帯がたくさん集まるまち・ 緑豊かで子育てしやすい教育のまち・ 魅力的なイベント、商業や観光施設が充実したまち・ 観光客も多く訪れて、にぎわいのあるまち・ 産業や商業の活性化を図るまちづくり・ 緑と都会が両立した訪れやすく楽しみやすいまち・ 電動自転車のシェアリング等で商業施設や観光施設へのアクセスをしやすいまち・ 高齢者などの体の不自由な人が移動しやすいまち・ サステナブルな交通と生活が両立するまち・ 「帰ってきた」と思えるような、景観を残した温かみのあるまち・ 沿線の大きな変化を見据えた土地利用を可能とするまち など	<p>多摩都市モノレール延伸部沿線まちづくりについて、プロジェクト・まちづくり検討会を設置し、有識者や地元自治体等と情報共有や意見交換を行いながらプロジェクトの具体的な事業内容等の検討を進めています。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>

Q2 多摩都市モノレール延伸部沿線のまちの好きなところは何ですか？

主な意見	東京都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・程よく田舎で落ち着いており、のびのび子育て・地域の方が優しく、ファミリー層向けの住宅が多い・野山北公園やみかん狩り等、自然が近く観光したい・家族で出かけられる場所がある・多摩湖など自然が豊かで、生活に溶け込んでいる・東京狭山茶などの農業が盛ん・生活に必要な商業施設が揃い、バランスが良い・落ち着いた住環境と自然環境が共存している・道路が広くバスでの移動が発達している・風景が良い（富士山、山並み、里山等）など	<p>多摩都市モノレール延伸部沿線まちづくりについて、プロジェクト・まちづくり検討会を設置し、有識者や地元自治体等と情報共有や意見交換を行いながらプロジェクトの具体的な事業内容等の検討を進めています。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>

Q3 多摩都市モノレール延伸部沿線のまちでどのようなことをしてみたいですか？

主な意見	東京都の考え方
<ul style="list-style-type: none">・安心して子育て・キャンプやグランピング、トレッキング、サイクリング等のスポーツ、自然を活かした体験学習等・三つの街を繋ぐ合同イベント、お祭りなど・地域に密着した個人経営等の飲食店巡り・自然や食文化を楽しみながらまち歩き・田植え体験や農家民宿など自然と触れ合いたい・自動運転バスが普及し、気軽に外出・移動できる・駅から車を使用しないで、公共交通機関で買い物ができる・モノレールから、まちや富士山、狭山丘陵などの景色が見たい など	<p>多摩都市モノレール延伸部沿線まちづくりについて、プロジェクト・まちづくり検討会を設置し、有識者や地元自治体等と情報共有や意見交換を行いながらプロジェクトの具体的な事業内容等の検討を進めています。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>

Q4 まちの風景の中でどのような駅があると良いと考えますか？

	主な意見	東京都の考え方
(仮称) No.1駅	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に愛され、子どもたちと創る賑わいのある駅 ・大人も子供もわくわくするような駅 ・新しい街の入り口としての象徴となる駅 など 	
(仮称) No.2駅	<ul style="list-style-type: none"> ・村山医療センター等が利用しやすい駅 ・どんよりした気分にならず空気がいいと感じるような駅 ・安らぎを得られる場所 など 	
(仮称) No.3駅	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモールや温泉等がある、延伸部の核となるような駅 ・活気と賑わいの拠点 ・市の中心地として風格があり、象徴となるような駅 など 	
(仮称) No.4駅	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的なデザインと古典的な文化の調和を再現した 居心地の良さを感じられるような駅 ・自然といっしょに落ち着いてかけめぐれる駅 ・自転車道でのサイクリングの拠点として活動的な駅 など 	都民のみなさまからいただいたご意見をもとに、延伸部全体と各駅のコンセプトとして取りまとめました。
(仮称) No.5駅	<ul style="list-style-type: none"> ・川の音に心休まるような駅 ・生き生きとした躍動感がある駅 ・みんなの心がワクワクするような駅 など 	
(仮称) No.6駅	<ul style="list-style-type: none"> ・未来感があるような駅 ・里山風景をイメージした木造風や温かみのあるデザイン ・地域が誇る産業や名産品を発信できるような駅 など 	
(仮称) No.7駅	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場町の歴史が感じられる駅 ・明るく光が差し込み、木目調で温かみのある駅 ・新しい街の入り口としての象徴となる駅 など 	

Q5 まちの風景の中でどんな駅になってほしいですか？

	主な意見	東京都の考え方
(仮称) No.1駅	<ul style="list-style-type: none"> 延伸部への玄関口としておもてなしの温かさがある駅 賑やかさと落ち着きを感じられる居心地の良い駅 誰でも使いやすく、地域に開けた駅 など 	
(仮称) No.2駅	<ul style="list-style-type: none"> 安らぎを感じ、優しさが溢れた駅 都営住宅、市民センター、公園、病院もあるので、子供から高齢者まで色々な人が安心して利用できる駅 など 	
(仮称) No.3駅	<ul style="list-style-type: none"> 狭山丘陵の緑と新しい都市開発にマッチする駅 公共施設や市役所を建て便利な駅 このエリアの象徴になる駅 風景に溶け込む駅 など 	
(仮称) No.4駅	<ul style="list-style-type: none"> 桜並木を生かして、自然と一緒に愛される駅 ほんわりと温かみのある暖色の灯りの駅 桜並木での散策、自転車道でのサイクリングの拠点 など 	都民のみなさまからいただいたご意見をもとに、延伸部全体と各駅のコンセプトとして取りまとめました。
(仮称) No.5駅	<ul style="list-style-type: none"> 川辺の空間を活用した都民や市民の触れ合える駅 どこかに行きたくなるような自然が融合している駅 生き生きとした躍動感や川の音が感じられる駅 など 	
(仮称) No.6駅	<ul style="list-style-type: none"> まちの新しい「顔」として、地域の風景と調和 精密な技術と景観が融合、まちの魅力を引き立てる ワクワクドキドキ楽しくなるような駅 美しい富士山が見える駅 など 	
(仮称) No.7駅	<ul style="list-style-type: none"> 宿場町の歴史を感じさせる駅 人と人が交わる駅、人が往来しやすい駅 にぎわい、憩いを兼ね備えた駅 など 	

都民のみなさまからいただいたご意見をもとに、延伸部全体と各駅のコンセプトとして取りまとめました。

項目	駅のコンセプト
延伸部全体	沿線でつながる空と狭山丘陵の緑の広がりや、地域の良さが人の五感に響く
(仮称) No.1駅	新しいまちの玄関口として、明るく子供たちがワクワクする
(仮称) No.2駅	「やさしさ」と「やすらぎ」に包まれ、病院や市民センターなどを訪れる人の気分が向上する
(仮称) No.3駅	様々な施設が集まる沿線の核としての風格を備え、賑わいや楽しさを感じる
(仮称) No.4駅	自転車道の桜並木と調和し、自然のかけめぐりを感じる
(仮称) No.5駅	生き生きと心や体がゆれ躍り、川の音や流れを感じる
(仮称) No.6駅	狭山丘陵の風景と調和しながら、未来を感じさせる
(仮称) No.7駅	宿場町の歴史が感じられ、人々の往来や交流で賑わい「はじまり」を予感させる